

公益財団法人大学コンソーシアム京都

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 吉田美喜夫

2 所在地

京都市下京区西洞院通塩小路下ル東塩小路町 939 番地

3 電話番号

075-353-9100

4 ホームページアドレス

<http://www.consortium.or.jp/>

5 設立年月日

平成 10 年 3 月 19 日

6 基本財産

100,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 50.0%）

7 事業目的

京都地域を中心に，大学間連携と相互協力を図り，加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに，学生の成長を促進するための学生支援，大学の国際化を推進するための国際連携・国際交流等の充実に努める。併せて，地域社会，行政及び産業界との連携を促進し，地域の発展と活性化に努め，京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指す。そのために，多様な連携に基づく教育，学生支援，研修，調査・研究，情報収集，情報発信，交流促進等を行い，日本の高等教育の発展に寄与することを目的とする。

8 業務内容

- (1) 単位互換，インターンシップ等の教育に関する企画調整事業
- (2) 学生に対する支援事業
- (3) 教職員に対する研修交流事業
- (4) 国際連携，国際交流事業
- (5) 大学と高等学校等との連携による企画調整事業
- (6) 大学と地域社会，行政及び産業界との連携による調査研究事業
- (7) 大学と地域社会，行政及び産業界との情報発信交流事業
- (8) 大学と地域社会，行政及び産業界との連携等による生涯学習事業
- (9) 全国各組織との連携による企画調整事業
- (10) その他目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局総合政策室（TEL075-222-3103）

10 役員名等

(1) 理事長

吉田美喜夫

(2) 副理事長

大城光正，松岡敬

(3) 専務理事

桂 良彦

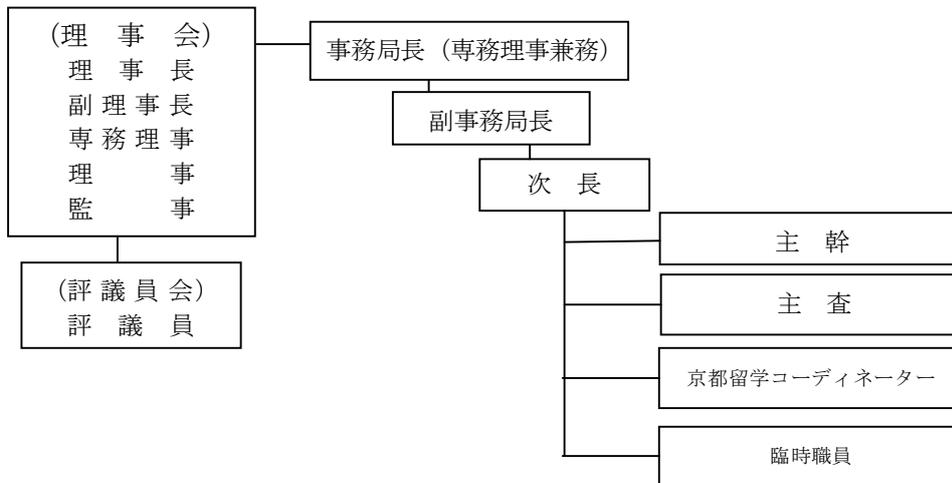
(4) 理事

赤松徹眞，竹宮恵子，藤井純一，松田武，鷺田清一，藤原正行（総合企画局長）

(5) 監事

足立好弘，高田美恵子

- 11 常勤職員数
46人（うち本市派遣職員3人）
- 12 組織機構



第2 経営状況

1 平成27年度決算

(1) 事業報告

ア 教育・施設管理事業

(ア) 単位互換事業

- a 包括協定大学数 48 大学
- b 提供科目 589 科目
(eラーニング科目 16 科目, プラザ科目 70 科目, オンキャンパス科目 430 科目)
- c 履修者数 3,412 人

(イ) 生涯学習事業 (京カレッジ)

- a 科目提供大学数 34 大学 2 機関
- b 提供科目数 449 科目
- c 出願者 延べ1,946 人

(ウ) 施設管理運営

- a 京都市大学のまち交流センターの指定管理
- b 京都市大学のまち交流センター6階「大学院等共同サテライト拠点」の管理運営

イ 高大連携・インターンシップ事業

(ア) 京都高大連携研究協議会の運営

- a 「第13回高大連携教育フォーラム」実施 (参加者 300 人)
- b 実践研究共同教育プログラム (1 高校にて実施)
- c キャリア教育企画 (Kyoto カタリ場を 5 高校で実施, まるっとーく 2 企画, ガールズキャリアトーク 1 企画を実施)

(イ) 京都の大学「学び」フォーラム 2015

会場：立命館大学 衣笠キャンパス, 参加者数：1,903 人

(ウ) インターンシップ事業

- a ビジネス・パブリックコース
(受入登録団体 217 団体, 出願者数 542 人, 受講者数 343 人)
- b プロGRESSコース (受入登録団体 14 団体, 出願者数 49 人, 受講者数 45 人)

ウ 教育開発事業

- (ア) FD (ファカルティ・ディベロップメント) フォーラム事業
 - a 第21回FDフォーラム (3月5日, 3月6日, テーマ:「大学教育を再考する～イマドキから見えるカタチ～」) 於: 京都外国語大学, 参加者数 756人)
 - b 京都FD執行部塾
6月20日, 参加者数 31人
 - c 京都FDer塾シンポジウム (1月23日, 参加者数 70人)
 - d 新任教員FD合同研修 (9月5～6日, 参加者数 29人, 3月12～13日, 参加者数 12人)
 - e 大学教育パワーアップセミナー (11月20日, テーマ「イマドキの高校の「学び」の形～学生たちが体験してきたアクティブラーニング型授業とは～」) 於: 池坊短期大学, 参加者数 14人) (12月11日, テーマ「アクティブ・ラーニング型授業と講義型授業の違い～大学におけるオープンな学びから～」) 於: 池坊短期大学, 参加者数 15人)
- (イ) SD (スタッフ・ディベロップメント) 事業
 - a 大学職員共同研修プログラム (参加者数 90人)
 - b 第13回SDフォーラム (10月18日, テーマ:「多様な繋がりを育む大学職員」, 参加者数 143人)
 - c SDワークショップ (計3回, 参加者数 延べ37人)
 - d SDゼミナール 受講生 25人
- (ウ) 国際連携事業
 - a 学生派遣プログラムの実施
ボストン・サマーセッション (2人), 龍谷大学メルボルン短期留学プログラム (16人)
 - b TOEFL講座 (概要説明会・スコアアップセミナー) の実施 (80名)
 - c 短期留学生受入れプログラムの実施 (夏期 11人, 冬期 15人)
 - d 海外留学派遣プログラム開発支援事業 (10件採択)
 - e 大学職員対象英語研修プログラム開発及び実施 (計6回, 延べ82人)
 - f 京都地域留学生住宅保証事業・支援事業 (43名)
 - g 留学生スタディ京都ネットワーク事業 (年度末加盟数 86機関)
 - h 留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業 (年度末会員数 61人)

エ 学生交流事業

- (ア) 第13回京都学生祭典
(10月11日, 来場者数: 約14万4,000人※京都学生祭典実行委員会調べ)
- (イ) 第18回京都国際学生映画祭
(11月21日～27日, 応募作品 217本[国内 123作品・海外 94作品], 来場者数 596人)
- (ウ) 障害学生支援事業
ノートテイク養成講座 (5月24日実施, 参加者: 学生 21名, 教職員 11名, 一般 1名)

オ 調査・広報事業

- (ア) 調査企画事業
 - a 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議
推進会議 (2回), 学生の活動支援専門部会 (2回),
 - b 京都B&S (ブラザー&シスター) プログラム (21校・2630名)
 - c 指定調査課題
 - (a) 平成27年度指定調査課題推進
加盟校所属の教職員による調査研究 (3件) を実施するとともに, 調査研究成果の報告会及び交流会を実施 (3月15日 成果報告会参加者 80名, 交流会 60名)
 - (b) 平成28年度指定調査課題 課題策定・研究者選考
 - d 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集項目決定

- (イ) 広報事業
 - a 財団ホームページ・Facebook による情報発信
 - b 京都学生広報部の設立, 専用 WEB サイト「コトカレ」オープン (平成 27 年 10 月)
 - c 定期刊行物の発信
 - 会報の発刊 (年 1 回), Information の発刊 (年 1 回)
- (ウ) 共同広報事業
 - 京都の学びスタイル 2015 の発刊 (36,000 部)
- (エ) 都市政策推進事業等
 - a 都市政策研究推進事業
 - (a) 京都から発信する政策研究交流大会
 - (口頭発表 65 組・パネル発表 14 組・その他 (行政パネル展示) 7 組, 参加者 451 名)
 - b 学まちコラボ事業
 - 京都市との協働により, 大学と地域が連携する取組に助成金を交付
(応募 18 件, 採択 14 件)
 - (オ) シンクタンク事業
 - 大学の若手研究者と京都市の担当部署が協力し合って調査・研究 (5 件) を実施するとともに, 調査・研究成果の報告会 (参加者 58 名) 及び交流会 (参加者 37 名) を実施した。
- カ 総務事業
 - (ア) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営
 - a 第 12 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営
 - 於：金沢工業大学扇が丘キャンパス, 平成 27 年 9 月 12~13 日
 - テーマ「大学に求められる役割と大学コンソーシアムの新たな展開」(参加者数 300 人)
 - b 協議会運営委員会の運営 (3 回), 幹事会 (2 回), 総会 (1 回)
 - c 協議会の組織管理と経理処理
 - d 第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの準備
 - (イ) 勤労学生援助会事務局運営
 - a 理事会 (2 回), 総会, 選考委員会
 - b 表彰・奨学金贈呈式 (14 大学・短大の 14 名を表彰)
 - (ウ) 公益財団法人組織運営
 - a 理事会 (7 回), 評議員会 (3 回) 開催
 - b 財団資料の作成 (事業概要等)

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成28年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	130,467	141,886	△ 11,419
未収金	46,056	1,315	44,740
立替金	2,053	551	1,502
前払費用	631	499	132
仮払金	0	25	△ 25
流動資産合計	[179,206]	[144,276]	[34,930]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産普通預金	405	405	0
基本財産投資有価証券	100,000	0	100,000
基本財産定期預金	0	100,000	△ 100,000
基本財産合計	(100,405)	(100,405)	(0)
(特定資産)			
財団拡充普通預金	11,908	46,863	△ 34,955
留学生支援事業積立金		0	30,000
教育設備・機器等整備普通預金	20,713	27,834	△ 7,122
財団拡充投資有価証券	30,000	0	30,000
教育設備・機器等整備有価証券	30,000	0	30,000
財団拡充定期預金	0	30,000	△ 30,000
教育設備・機器等整備定期預金	0	30,000	△ 30,000
特定資産合計	(122,620)	(134,697)	(△ 12,077)
(その他固定資産)			
構築物	835	1,250	△ 416
設備造作	1,593	1,631	△ 38
什器備品	30,526	18,547	11,978
無形固定資産	2,903	5,525	△ 2,622
投資有価証券	20,000	29,998	△ 9,998
その他固定資産合計	(55,856)	(56,951)	(△ 1,095)
固定資産合計	[278,882]	[292,053]	[△ 13,171]
資産合計	458,088	436,329	21,759
II. 負債の部			
1. 流動負債			
リース債務	2,062	3,517	△ 1,455
未払金	35,952	32,247	3,706
前受金	100	0	100
社会保険料預り金	845	600	245
源泉所得税預り金	278	261	17
住民税預り金	298	163	136
仮受金	0	561	△ 561
流動負債合計	[39,535]	[37,348]	[2,187]
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,888	3,938	△ 50
固定負債合計	[3,888]	[3,938]	[△ 50]
負債合計	43,423	41,286	2,137
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[100,405]	[100,405]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,405)	(100,405)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[314,260]	[294,638]	[19,622]
(うち特定資産への充当額)	(122,620)	(134,697)	(△ 12,077)
正味財産合計	414,665	395,043	19,622
負債及び正味財産合計	458,088	436,329	21,759

正味財産増減計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	150	770	△ 620
特定資産運用益	90	416	△ 326
その他資産運用益	164	165	△ 1
受取入会金	0	509	△ 509
受取会費	164,886	164,372	514
事業収益	62,299	37,749	24,550
指定管理者事業収益	170,674	176,756	△ 6,082
受取補助金等	900	900	0
受取運営分担金	19,263	12,312	6,951
雑収益	71	79	△ 8
経常収益計	418,497	394,027	24,470
(2) 経常費用			
事業費	373,430	332,574	40,856
管理費	25,444	28,086	△ 2,642
経常費用計	398,875	360,660	38,214
当期経常増減額	19,622	33,367	△ 13,745
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	4,590	△ 4,590
当期経常外増減額	0	△ 4,590	4,590
当期一般正味財産増減額	19,622	28,777	△ 9,154
一般正味財産期首残高	294,638	265,861	28,777
一般正味財産期末残高	314,260	294,638	19,622
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	31	△ 31
指定正味財産期首残高	100,405	100,374	31
指定正味財産期末残高	100,405	100,405	0
III. 正味財産期末残高	414,665	395,043	19,622

2 平成 28 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 教育事業

(ア) 単位互換事業

平成 27 年度に開講した「京都世界遺産 PBL 科目」の安定的な運営及び 1 科目当たり 10～20 名程度の受講生を確保する。また、特色ある「プラザ推奨科目」の新規開設に向けた検討を行う。

(イ) 生涯学習事業

新たに「大学リレー講座」をパイロット事業として開講するとともに、当財団加盟大学における生涯学習事業の取組について積極的な PR を行う。

(ウ) インターンシップ事業

長期的展望を見通して、受入先やコーディネーターの数、学生数などの量的な面だけでなく、事前事後学習の内容も含めたプログラム全体の質的充実や見直し及び改善を進める。

イ 教育開発事業

(ア) FD 事業

加盟大学を中心とした相互交流や情報共有によるシナジー効果を重視した事業を推進する。FD フォーラム企画検討、FD 企画研究の 2 委員会の協力・連携を進め、それぞれの事業で培ってきた経験やノウハウを情報共有し、互いの事業に生かすことを意識する。

FD フォーラム事業は、加盟校を中心に FD 活動の普及と推進を目的とした国内有数の大規模イベントとして、平成 28 年度は京都府立大学で開催する予定である。

研修事業では、学長など大学執行部向け、新任教員向け、FD 推進委員向け、というように対象者を階層別に分けた研修を行っている。そのほか、加盟大学をはじめとした個々の大学・教育機関の情報を共有できる情報ハブの機能を果たす高等教育イベント NAVI「教まちや」を提供することで、相互交流や情報共有によるシナジー効果の促進を図る。

(イ) SD 事業

大学職員共同研修プログラム、SD ワークショップ、SD フォーラム、SD ゼミナールを実施する。スケールメリットを生かして、スキルアップや知識の習得はもちろん、人的交流も積極的に行っていく。

(ウ) 京都高大連携研究協議会事業

a 高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ていると認識しており、今後は大学関係者と高校関係者の交流促進企画を実施するなど、さらなる充実を図り開催する。

・京都府内生徒向けキャリア教育

b 「まるっと一く in ○○」として実施。高校生、大学生への教育的効果に加え、平成 26 年度から地域の社会人との連携に拡大。引き続き、事業充実を図る。

c 女子生徒・学生向けキャリア教育

平成 27 年度は実施方法を見直し、登壇者の選定も十分に検討のうえ実施した。平成 27 年度の実施状況を鑑み、関係機関との連携を強化し、企画内容の充実を図る。

d Kyoto カタリ場

実施校からは一定の評価を得ている一方、事業自体は委託先の NPO 法人主体で進められているため、平成 27 年度新規実施校のみ対象として募集し、平成 28 年度末に終了とする。

ウ 学生交流事業

(ア) 京都学生祭典

「学生のまち 京都」ならではの学生の力を集結させ、京都の地域活性と「大学のまち 京都」を全国に発信することを目的に、第14回京都学生祭典を10月に開催する。京都学生祭典の企画・運営は学生による実行委員会が担い、行政、経済界、大学、地域が連携した組織委員会が「オール京都」体制で支援していく。また年間を通じ、「京炎 そでふれ！」を通じた地域交流や国際交流、また新たに地域活性プロジェクトに取り組む。

(イ) 京都国際学生映画祭

京都から、学生映画監督の発掘と国際的な映画人材の交流、映画文化の発信を目的に、京都国際学生映画祭を11月に開催する。学生による実行委員会が、映画に詳しい大学教員や実務家からのアドバイスを受けながら、コンペティション募集による入選作品の選定、映画祭での上映、授賞式でのグランプリ作品の表彰までの祭全体の企画・運営を行う。

(ウ) 障害学生支援事業

「障害者差別解消法」の施行（平成28年4月）を受け、各大学における障害学生支援担当者のネットワークを構築するため、「関西障害学生支援担当者懇談会」を年2回開催し、担当者同士が意見交換を行える場を創出する。また、学生へは、聴覚障害学生の情報保障の一つであるノートテイクの理解やスキル向上を目的に、ノートテイク養成講座を提供する。

エ 国際事業

(ア) 国際連携事業

a 学生派遣プログラム

既存の協定関係を生かして短期派遣プログラム（メルボルン）を実施する。

b 英語で京都をプレゼンテーション

京都の奥深い魅力を体験し、その魅力を英語で伝えられる能力を養成する研修を実施する。

c 欧州留学フェア

約50のヨーロッパの教育機関が参加し、日本人学生が欧州留学の魅力を学べるフェアを実施する。

d TOEFL 講座

交換留学等の語学要件を満たす語学力養成のため、TOEFL スコアアップセミナーを実施する。

e 大学職員対象英語研修プログラム

大学のグローバル化に対応するため、教職員向けの英語研修を実施する。平成28年度は、計6回実施する。

(イ) 留学生スタディ京都ネットワーク

大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等によるオール京都の留学生誘致・推進体制「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営する。

(ウ) 短期留学生受入事業

平成26年度に開発した英語による短期留学生受入プログラムを、京都市との協働により下記の日程で実施する。

夏季：平成28年7月24日～8月6日（定員25名）

冬季：平成29年1月15日～1月28日（定員25名）

(エ) 京都地域留学生住宅保証事業・支援事業

京都地域における留学生受入支援のため、住宅支援事業を実施する。

(オ) 留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

留学生の就職及び交流を支援するコミュニティを運営する。

オ 調査・広報事業

(ア) 調査企画事業

平成 27 年度に調査事業企画検討委員会にて財団事業の実績を客観的に点検する共通指標を作成したことを受け、財団事業データを各事業部の協力のもと統一的に収集する。指定調査課題については、研究グループに対する支援や加盟校に対する調査報告会を実施するとともに、平成 29 年度財団指定調査課題の策定を行う。

(イ) 広報事業

加盟校ヒアリングで財団事業の認知不十分が明らかとなったことを受け、HP の解析や SNS の活用を通じた情報発信の強化など、PDCA に基づいた運営を行う。

また、大学のまち・学生のまち京都の広報強化策として、平成 27 年度に創設した「京都学生広報部」は、大学生から見た京都・京都での大学生生活の魅力を専用サイト上で発信する。

(ウ) 都市政策研究事業

a 京都から発信する政策研究交流大会

学生・大学院生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策に活かすことを目的に開催する。

b 大学の知を活かした多角的な市政研究事業

京都ならではの大学の知を、京都市の政策・施策に反映するため、大学の研究者グループによる多角的な観点から調査研究を行う。

(エ) 地域連携事業

a 学まちコラボ事業

大学の知や学生の活力を生かした課題解決や地域活性化を目的として、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付する事業で、平成 16 年度から継続して実施している。

(オ) 「学まち連携大学」促進事業

京都市内にキャンパスを有する大学を対象に、大学を挙げて地域と連携した教育プログラムを開発・実施する取組を支援する事業を本年度から実施する。

カ 総務事業

(ア) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営

第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営（於：エリザベト音楽大学、広島国際大学広島キャンパス、平成 28 年 9 月 10～11 日、テーマ「大学連携によるグローバル人材育成」）

(イ) 勤労学生援助会事務局運営

15 大学・短大 15 名を表彰予定

(ウ) 公益財団法人組織運営

安定的な財団運営を目指す。

(エ) 施設管理運営

京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の指定管理者として、適正な施設管理・運営を行い、京都市とも連携しながら利便性と稼働率の向上に取り組む。

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	150	150	0
特定資産運用益	90	90	0
その他資産運用益	30	164	△ 134
受取会費	164,031	164,372	△ 341
事業収益	46,482	65,534	△ 19,052
指定管理者事業収益	170,674	170,674	0
受取補助金等	900	900	0
受取運営分担金	42,500	19,750	22,750
雑収益	367	84	283
経常収益計	425,224	421,718	3,506
(2) 経常費用			
事業費	405,002	395,791	9,211
管理費	27,377	26,929	448
経常費用計	432,378	422,720	9,659
当期経常増減額	△ 7,155	△ 1,002	△ 6,153
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,155	△ 1,002	△ 6,153
一般正味財産期首残高	293,636	294,638	△ 1,002
一般正味財産期末残高	286,481	293,636	△ 7,155
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,405	100,405	0
指定正味財産期末残高	100,405	100,405	0
III. 正味財産期末残高	386,886	394,041	△ 7,155

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	403,274	394,027	418,497	425,224
	当期経常増減額	950	33,367	19,622	△7,155
	当期正味財産増減額	985	28,808	19,622	△7,155
貸借対照表	総資産	403,797	436,329	458,088	
	総負債	37,562	41,286	43,423	
	正味財産	366,235	395,043	414,665	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
委託料	大学のまち交流センター管理及び事業 (指定管理)	171,846	176,756	170,674	170,674
	大学地域連携創造・支援事業	5,954			
	大学のまち京都次期推進計画策定	4,200			
	大学生の就職等に関する意識調査			2,495	
その他	年会費	500	500	500	500
	未来の京都創造研究事業	14,454	12,952	13,751	
	海外留学派遣プログラム開発支援事業	4,487	4,100	4,100	
	短期留学受入プログラム開発業務		2,200	3,000	3,000
	第14回世界歴史都市会議ユースフォーラム参加者派遣事業		450		
	大学地域連携創造・支援事業		5,062	4,548	5,500
	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議	500	500	500	500
	留学生スタディ京都ネットワーク			4,865	5,000
	「大学のまち京都」学生プロモーション			2,250	2,500
	大学の知を活かした多角的な市政研究事業				6,000
「学まち連携大学」促進事業				20,000	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">平成26年度に続き、平成27年度も当期正味財産増減額が黒字となっており、事業の選択と集中、業務の効率化による経費節減など、損益の改善に向けた取組の成果が認められる。
事業面	<ul style="list-style-type: none">「単位互換事業」や「インターンシップ事業」などのパイロット的事业において、着実に優れた成果を挙げている。また、新たな事業である「学まち連携大学促進事業」や「大学の知を活かした多角的な市政研究事業」に取り組むなど、本市施策「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進に大きく寄与している。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">3期連続して当期正味財産増減額の黒字を続けており、財務面において、事業整理による成果が表れている。
事業面	<ul style="list-style-type: none">効率的な事業運営を進めつつも、引き続き、先進的な事業への積極的な取組が望まれる。